

市民生活の向上をめざして

昭和51年度は27億円の一般会計予算です

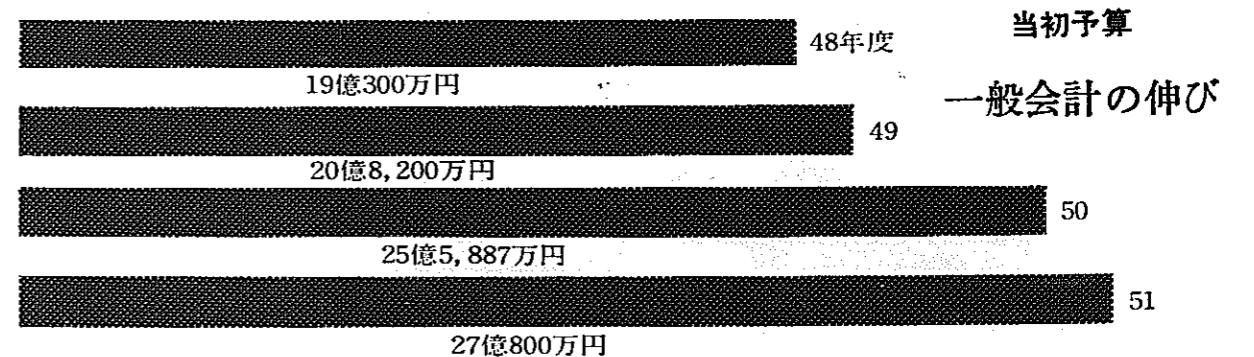
三月定例会市議会が十三日から二十七日まで開かれ、昭和五十二年の市政の方針と予算が決まりました。

吉沢市長が次のように施策方針を述べ新たな決意のもとで、五十二年の市政がスタートしました。

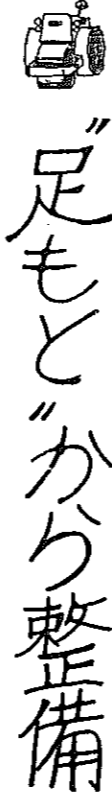
「市民の価値観の変化は、新しい行政需要の拡大を求めており、共同生活という自治の本質に立って、その需要にこたえていかなければ、地域社会の安定は得られません。このような基本理念に基づき、四十六年以来、本市の行政展開の指標としてきた総合計画を今一度点検し、検討を加えて時の流れにあうよう調整したいと思います。」

一方、予算編成にあたっては財政再建の最終年度でもあり、単年度赤字が生じることのないよう配慮し、生活環境の整備や福祉対策などへ重点的に配分を行なっていました」

(施政方針演説の概要)



土木費 36か所で舗装工事



市民の皆さんからの要望で一番多いのは、なんといっても道路の舗装と整備です。

現在、市道の舗装率は一五・六六％——これを少しでも伸ばすために、単独事業はもちろんのこと、農村総合整備モデル事業や農道整備事業などの、あらゆる制度をフルに活用して、取り組めます。

今年度の道路新設改良費は、昨年より九千七百五十三万円多く、工事路線も大幅に増えています。

一般土木事業の道路舗装は、茨曾根・庚線ほか二十六路線。改良は三十九路線にわたって行なわれます。

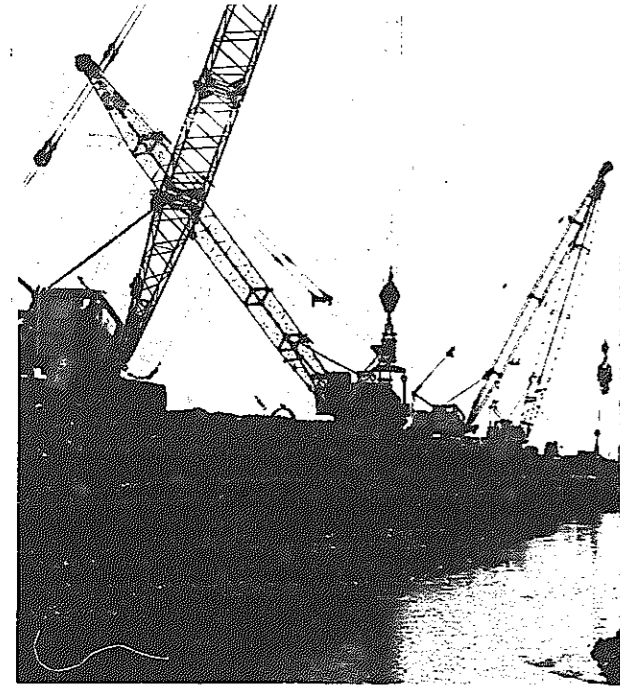
このほか、都市計画街路事業として、七軒村中線をはじめ十路線を舗装。十五路線が改良されます。

都市下水路事業では、鯉沼ポンプ場の施設整備がほぼ終了したことから、本格的な排水路工事ははじまります。

児童公園も、昨年の諏訪木公園に引き続き、今年度は能登地内に造成します。

■土木費 / 4億7,437万円

主なもの	▷道路維持費 ... 1,334万円
	▷道路新設改良費 ... 1億9,676万円
	▷都市下水路整備 ... 1億1,182万円
	▷公園整備 ... 741万円
	▷街路整備 ... 3,273万円



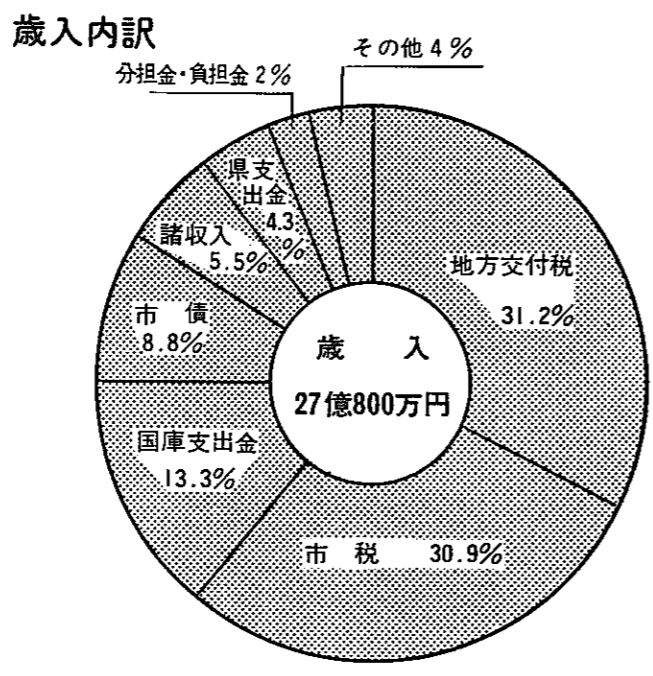
▲地沈対策事業として進められている大通川の改修工事。今年度、市の負担金は4,700万円です。



商工費

貸し付け金を増額

経済の不況で、商工業はきびしい環境をよぎなくされていきます。そこで、産業育成資金の貸し付け限度額を百五十万円から二



■商工費 / 1億5,378万円

主なもの	▷商工業振興費 ... 1億1,890万円
	▷市場費 ... 291万円
	▷観光費 ... 298万円
	▷厚生会館管理費 ... 1,026万円

調する網の経費、半額を援助します。

百五十万円に増やし、返済期間も二年に延長しました。

中小企業近代化資金も個人、法人貸し付けが二百万円から五百万円に、組合貸し付けの一千万円を二千万円にそれぞれ増額しました。

工業誘致は、すでに和泉の団地造成が八五％終わっていることから、今年度も公害のない健全企業の誘致につとめます。

本市唯一の観光事業、大風合戦を育成するため、大風組が新